

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022/3/22
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	水King株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1977年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		45年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒108-8470 東京都港区港南1-7-18 A-PLACE 品川東
	事業所数(国内、国外)		国内拠点数: 9か所 研究開発・製造拠点: 2か所 国内子会社: 6社 海外子会社: 2社		
	主な事業所の所在地		北海道、東北、首都圏、北関東、中部、西日本、九州 新潟、中国、高松 インドネシア、上海		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	公共事業および民間事業における、上水・用水事業、下水・排水事業、資源活用・資源循環事業
- 人材					
6	代表者	代表者氏名	代表者氏名	必須	中川 哲志
		代表者写真	代表者写真	選択	
		代表者年齢	代表者年齢		
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		
7	経営者	役員数	役員数	選択	21人
		役員氏名及び役職名	役員氏名及び役職名		代表取締役会長 市原 昭 代表取締役社長 中川 哲志 代表取締役副社長 二宮 朗 取締役 遠藤 方泰 取締役 大井 敦夫 取締役 岡部 康彦 常務執行役員 倉持 秀夫 執行役員 水口 芳文 執行役員 石川 康誠 執行役員 大汐 信光 執行役員 岩瀬 徹 執行役員 三島 浩二 執行役員 植村 健 執行役員 池口 学 執行役員 須山 晃延 執行役員 若原 弘宣 執行役員 小原 尚 執行役員 滝島 哲宏 監査役 橋本 章 監査役 竹澤 直樹 監査役 矢口 岳
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	従業員数 4,400名(2021年7月) ※国内外子会社含む

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	113億8,800万円(2021年3月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	1,852百万円(2021年3月期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	55億円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	45%(2021年3月期)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	無
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	有
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	荏原製作所33.3%、三菱商事33.3%、日揮33.3%
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	市原 昭
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	有 グループ・コンプライアンス委員会
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ対策規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	無	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		無	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- サービス基本特性					
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	Swing water net®
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2013/4/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		2013/4/1: SWNポータル、ビジュアルマニュアルリリース 2016/12/1: タブレット点検ENTリリース 2022/2/10: SWNポータルリニューアル
29		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つ中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	水処理関連施設の維持管理現場に提供するIoTサービスとして、フィールドエンジニアの目線に立ったコンパクトなシステムです。本サービスの特徴は、現場毎に合わせたサービスを組み合わせ提供し、それら必要なサービスがポータルサイトから一元的にアクセスできる点です 各サービスの概要は以下の通りです SWNポータル: 各SWNサービスにアクセスするためのシングルサインオン基盤です。また、メンテナンス情報などのお知らせ情報が確認できます。 タブレット点検: 点検帳票の電子化・ペーパーレス化サービスです。タブレットで点検結果の入力が可能で、オフライン環境での点検作業にも対応しています。
	他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		無		
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	基本的にはカスタマイズは不可です ただし、多くのニーズがあり、業務上必須となる部分については、応相談となります	
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	1カ月前	
		告知方法		SWNポータル内でのお知らせ	
33	サービスのの変更・終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無	
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無 当サービスは、当社の業務で必要な為、業務が継続している限りサービスを終了することはありません ただし、必要に応じて新たなサービスに置き換えるなどの対応を行う可能性はあります	
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		無 ただし、ユーザ側が必要に応じて契約終了前にデータをダウンロードする事は可能です	
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有 SWN問合せ窓口 月曜日から金曜日の平日9:00~11:45、12:45~17:30(但し休日・祝日、弊社指定休業日は除く)	
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	個別見積	
		固定部分の課金方法		個別見積	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
36	サービス料金	料金体系	必須	個別見積
		月額利用額		個別見積
		最低利用契約期間		個別相談
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	無し (ただし、解約時点で残存期間があった場合については、すでに徴収した料金の払い戻しを行いません。また、解約時点で債務が残っている場合も、債務の支払いが必要となります)
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り:1ヶ月前
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	2021年2月1日～2022年1月31日 99.69%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン3 95%以上
		サービス停止の事故歴		2021年2月1日～2022年1月31日 ミドルウェア障害:2件
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	監視システムにより、ログイン可否およびログイン完了までのレスポンスタイムを5分毎に確認している
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		同上
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称
43	サービス品質	個人情報の取扱い	必須	有り ユーザ申請書上にて明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	SWNポータル:日次 タブレット点検:日次
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	SWNポータル:7世代 タブレット点検:7世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
47		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	
48		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	無し
49	サービス 利用量	利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	
50		代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	SWN (Swing water net)
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	維持管理現場に提供するIGTサービスとして、フィールドエンジニアの目線に立ったコンパクトなシステムです。本サービスの特徴は、現場毎に合わせたサービスを組み合わせ提供し、それら必要なサービスがポータルサイトから一元的にアクセスできる点です
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	水King株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション:5分 サーバ:5分
			障害時の利用者への通知時間		翌営業日
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTPサーバと同期
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	対処:有 更新間隔:1時間
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有 全期間
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	情報セキュリティ管理者が信頼できる団体等から、適宜最新情報を取得し、必要に応じて脆弱性に対処している

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水ing株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	サービス提供拠点と利用者間のユーザ接続回線は、責任を負わない
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無 100Mbps以上が快適にご利用出来ます	
62	推奨端末		パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	WindowsPC、iPad、iPhone
			利用するブラウザの種類	必須	Internet Explorer、Google Chrome、MS Edge、Safari
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	・SAML認証 ・ID/パスワード認証 ・PC端末からのアクセス:IPアドレス認証 ・モバイル端末からのアクセス:クライアント証明書認証
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	認証局が発行するSSLサーバ証明書を使用しています
70	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	データ通信はHTTPSによる暗号化を行っています	
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	DC専用
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須	日本・関東地域
73		耐震・免震構造		耐震数値	必須
			免震構造や制震構造の有無	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
78		火災感知・報知システム	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
80		誘導雷対策	必須	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
81	空調設備	十分な空調設備	選択	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間
				監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間
		個人認証システムの有無		
83	媒体の保管		必須	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無
				保管管理手順書の有無
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	Amazon AWSを利用しておりますが、当該項目が非公開のため、開示できません
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	有 SWN問合せ窓口 03-6830-9085 swnadmin@swing-w.com
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月曜日から金曜日の平日9:00~11:45、12:45~17:30(但し休日・祝日、弊社指定休業日は除く)
		メンテナンス実施時間		メンテナンス内容により異なる。 都度SWNポータルのお知らせ欄にて通知
87	サービス窓口(苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)
				放棄率の実績値(単位:%)
				応答時間遵守率の実績値(単位:%)
				基準時間完了率の実績値(単位:%)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0236-2004, サービス名称: Swing water net®, 事業者名称: 水King株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	障害対応、操作説明(日本語のみ)
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話および電子メール
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	コールドスタンバイによる冗長化
90	サービス保証・継続 事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	有 Swing water net利用規約
91	サービス通知・報告 メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月
		告知方法		SWNポータルのお知らせ欄
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。